

2003年度 考古学研究室の足跡

- 4月1日 学部2年生3名進級、大学院生3名入学
- 4月26日～4月29日 熊本県天草郡大矢野町千崎古墳群の分布調査
- 4月26日～5月2日 熊本県天草郡大矢野町小波戸遺跡の発掘調査
- 4月26日～5月10日 鹿児島県大島郡笠利町安良川遺跡の発掘調査
- 7月23日～7月27日 甲元眞之教授、小畑弘己助教授、韓国にて植物遺存体に関する調査
- 7月25日～ 韓国慶北大学校朴天秀先生、熊本大学へ留学
- 7月28日～8月7日 甲元眞之教授、小畑弘己助教授、新里亮人（社会文化科学研究科博士2年）、芝康次郎（文学研究科修士1年）、ロシア・クロウノフカI遺跡の調査
- 8月8日～8月25日 熊本県鹿本郡植木町高熊古墳の第2次調査
- 9月9日～10月4日 熊本県阿蘇郡西原村河原第3遺跡の第4次調査
- 9月20日～9月23日 大学院集中講義「文化保存政策特論」四日市市立博物館 和田勝彦先生
- 9月25日～9月28日 文学部・大学院集中講義「文化財保存科学」筑波大学 沢田正昭先生
- 10月21日～10月30日 甲元眞之教授、中国にて古人骨の調査・研究
- 11月1日 熊本大学考古学研究室公開シンポジウム「中国古代のタカラガイ使用と流通、その意味－商周代を中心に－」（於熊本大学文学部A3教室）
- 11月18日 朴天秀先生講演「栄山江流域における前方後円墳が提起する諸問題」
- 12月4日 中国四川大学李映福先生来学。講演「四川における考古新発見」
- 12月14日～12月18日 甲元眞之教授、小畑弘己助教授、ロシア・クロウノフカI遺跡の遺物整理
- 1月9日 修士論文提出
檀 佳克「土器製作技術の伝播・受容状況からみた古墳時代開始期の九州」
橋口剛士「小形台形石器の製作技術の研究」
宮本千恵子「石製スクレイパーの研究－旧石器時代から縄文時代を中心に－」
- 1月13日 卒業論文提出
上野平優紀「縄文時代九州の蛇紋岩製品についての一考察」
中里陽道「甕形土器の使用法－弥生・古墳時代の九州北半部を対象に－」
中田伸一「九州における装飾付大刀の研究」
仲矢咲紀「弥生時代における日田盆地の墓制について」
前田知聖「弥生時代石製農具研究－中九州を中心に－」
村上 彩「平楯・塞ノ神式土器に関する一考察」
望月大輔「台形石器の使用法に関する研究－西北九州を中心に－」
森幸一郎「川内川流域における中世城郭の研究」
安元香名美「土器からみた西新町遺跡の特質」
- 2月7日 卒業論文・修士論文口頭試問会
- 2月18日 藏富士寛氏、熊本大学社会文化科学研究科より博士（文学）が授与される。
- 3月16日～3月23日 熊本県天草郡大矢野町千崎古墳群の測量調査
- 3月25日 卒業（修了）式 学部生9名、大学院生3名を送る。
- 3月31日 考古学研究室報告第39集発行

考古学研究室報告 第39集

発行年月日 2004年3月31日

編集・発行 熊本大学文学部考古学研究室
〒860-8555 熊本市黒髪2丁目40-1
TEL. 096-344-2111 (代表)

印 刷 シモダ印刷株式会社
〒862-0951 熊本市上水前寺2丁目16-16
TEL. 096-383-5512
FAX. 096-386-5454